医療連携推進業務に係る取組の状況

資料 10―3

（理念）
尾三会は、広域をカバーする高度・専門医療を安定的に供給する一方で、地域住民の皆様が住み慣れた地域を中心に、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できるよう、高度急性期医療と地域包括ケアの連携モデルを構築し、愛知県地域医療構想の確実な実現に貢献いたします。
（運営方針）
尾三会では、愛知県地域医療構想実現のため、以下の取組みを実施いたします。なお、病床機能調整を含む地域医療構想は、地域医療構想調整会議において検討の上その実現を図るため、尾三会は、参加法人を通じ、地域医療構想実現に向けてのノウハウや仕組みの提供、医療従事者の質の向上や職員派遣といった支援により、地域医療構想の実現に寄与いたします。
① 特定機能病院として広域への高度急性期医療の提供や、医療資源（医療従事者等）の適正配置及び医療・介護連携モデルの提供等を通じて回復期病床及び在宅診療等の充実化を促進いたします。
② 広域を担う特定機能病院と、地域医療構想区域の地域包括モデルとの連携促進により、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる広域連携モデルの構築に寄与いたします。
③ 厳しい経営環境において持続可能性を維持しつつ、地域医療構想に柔軟に対応できるよう、参加法人の経営に資する医薬品等の共同購入等を支援いたします。

（令和 8 年 3 月 31 日現在）

	事項	医療連携推進方針における記載内容	活動状況等	補足説明
病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標	・ グループ内施設の機能分化	特定機能病院である藤田医科大学病院は、多くの医療圏をカバーしており、その他のグループ内施設は連携して各地域に必要な急性期以降の機能を担います。具体的には、特定の医療圏における疾患を対象としたワーキンググループを立ち上げ、連携モデルの具体的な推進を図ります。	空床情報の共有をクラウド上で実施し、12 施設が登録中である。転院受け入れに伴う情報（要件）を可視化するため、受け入れ基準一覧表を作成し利用している。 尾三会参加病院及び診療所の診療機能データをシステム化及び標準化し、ホームページにて公開している。退院調整の質と効率化の向上、継続且つ横展開可能な、シームレスな医療の提供を目指して、事業を推進していく。	空床情報共有 ・総合病院南生協病院 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・並木病院 ・三嶋内科病院 ・冨田病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・高須病院 ・日進おりど病院 ・平岩病院 ・藤田医科大学病院 病院概要掲載 全参加病院及び診療所
	・ グループ内施設間における医療・介護従事者等の人事交流を実施し、回復期機能や在宅医療を充実	特に必要性の高い地域医療構想区域に対し、医療施設従事者が多い尾張東部構想区域から、不足地域医療構想区域に対し、グループ内施設を通じて人事交流を実施し、地域偏在の解消、回復期機能や在宅医療の充実化を図ります。	人事交流について藤田医科大学病院と調整し、特に必要性の高い地域の施設に対し、医師の派遣を 3 施設へ行った。 藤田医科大学病院と各参加施設の看護師・薬剤師が、指導及び業務改善・整理・効率化のために人事交流（在籍出向）を行った。 藤田医科大学病院の放射線技師及び作業療法士を各参加施設へ、人事交流として出向させた。	人事交流参加施設　出向元：藤田医科大学病院 医　師：・総合病院南生協病院 ・第一なるみ病院 ・日進おりど病院 看護師：・第一なるみ病院 ・並木病院 ・前原整形外科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｸﾘﾆｯｸ ・善常会リハビリテーション病院 ・高須病院 ・寿光会中央病院 ・地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ ・日進おりど病院 薬剤師：・総合病院南生協病院 ・第一なるみ病院 ・冨田病院 ・善常会リハビリテーション病院 放射線技師：・冨田病院 ・善常会リハビリテーション病院 作業療法士：葵セントラル病院
	・ 医療･介護従事者向け勉強会や研修業務の共同実施を通じ、回復期機能及び在宅医療を充実	藤田医科大学病院で行われる勉強会や外部講師を招いて行われるセミナー等をグループ内施設の医療従事者向けにオープン化することや、藤田医科大学地域包括ケア中核センターを中心に、回復期機能や在宅医療に関わる医療･介護従事者向け研修を実施いたします。また、グループ内施設のニーズを把握し、医療・介護従事者向けの研修会や研修業務の企画立案をし、グループ内施設の職員を講師として派遣することで、地域全体での医療・介護サービスの質の向上に貢献します。 さらに、地域の潜在看護師が自信を持っていきいきと働くための支援として、医療安全を基盤とした看護技術習得を目指した再教育及び就労支援を実施することにより、地域医療に貢献していきます。	藤田医科大学等で開催されたセミナー（WEB を含む）や尾三会参加施設の研修会等の案内を全施設にした。 参加施設より講師派遣の依頼が 21 件あり、参加施設の認定看護師が講師として講義・指導を行った。 看護連携強化のための看護管理者会議を 2 回開催し、26 施設の看護管理者が参加した。情報共有や人材確保に関するセミナー聴講を行った。 薬剤部門の情報共有や連携強化について、尾三会薬剤師会ミーティングを 7 回開催、11 施設が参加した。各施設の課題・検討事項の共有、意見交換を行った。 e-learning を活用した医療の質向上のため、「尾三会学びばこ（クラウドサービス）」を 7 施設が利用。2026 年 1 月に掲載コンテンツを一部更新及び追加し、現在 50 のコンテンツを掲載。延べ 340 回の閲覧があった。 有料職業紹介事業について、看護師 3 名の紹介が成立した。	講師依頼施設 ・相生山病院 ・冨田病院 ・葵セントラル病院 ・辻村外科病院 ・小嶋病院 ・日進おりど病院 講師派遣施設 ・総合病院南生協病院 ・豊田地域医療センター ・藤田医科大学病院 ・国立長寿医療研究センター 看護管理者会議参加施設 ・総合病院南生協病院 ・相生山病院 ・第一なるみ病院 ・みどり訪問クリニック ・並木病院 ・宇野病院 ・三嶋内科病院 ・冨田病院 ・葵セントラル病院 ・総合青山病院 ・辻村外科病院 ・一里山・今井病院 ・豊田地域医療センター ・小嶋病院 ・前原整形外科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｸﾘﾆｯｸ ・秋田病院 ・老人保健施設和合の里 ・善常会ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 ・高須病院 ・山尾病院 ・平岩病院 ・寿光会中央病院 ・日進おりど病院 ・国立長寿医療研究センター ・特別養護老人ホーム洲原ほーむ ・藤田医科大学病院 尾三会薬剤師会ミーティング参加施設 ・総合病院南生協病院 ・相生山病院 ・辻村外科病院 ・寿光会中央病院 ・豊田地域医療センター ・小嶋病院 ・秋田病院 ・日進おりど病院 ・善常会ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院 ・国立長寿医療研究センター ・藤田医科大学病院

病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標				尾三会学びばこ利用施設 ・第一なるみ病院　・並木病院　・総合青山病院　・辻村外科病院 ・小嶋病院　・寿光会中央病院　・日進おりど病院 看護師紹介施設 ・並木病院　・高須病院　・地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ
	・　グループ内施設間での患者情報の共有化モデルの確立	高度急性期医療を担う藤田医科大学病院の電子カルテシステムを拡張し、高度急性期から在宅医療までの一連の流れの中で患者情報を電子的に共有します。将来的により効率的に情報システムを利用するための方法等について検討します。	インターネットを通じ診療情報を参照するシステムである「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を参加施設に促し、申し込みを取りまとめている。現在、16 施設がシステムの設置・設定を済ませている。 医療 DX に関して各参加施設へ提案し、事業としての取り組みを検討中である。	ID-Link 設定済施設 ・ジャパン藤脳クリニック　・みどり訪問クリニック　・並木病院 ・冨田病院　・葵セントラル病院　・辻村外科病院　・小嶋病院 ・一里山・今井病院　・山尾病院　・総合青山病院　・宇野病院 ・秋田病院　・相生山病院　・日進おりど病院　・三嶋内科病院 ・前原整形外科リハビリテーションクリニック
	・　医療事故調査等に関する業務の連携	医療事故対応の経験やノウハウ、専門家の知識等膨大なデータを有する藤田医科大学を中心に、専門医の派遣や解剖、死亡時画像診断（Ai）等を活用することでグループ内施設における医療事故発生時の対応を支援し、適切に医療事故報告制度に基づく調査報告を実施できるようにします。	医療事故に関する 24 時間 365 日対応や医療安全および院内感染に関する教育・相談、施設内医療事故調査委員会の設置運営への協力など、医療事故に対する支援体制を整えるため、参加施設は「藤田あんしんネットワーク」へ加入していただく。尾三会が窓口となり、全参加施設が入会を済ませている。事務局はあんしんネットワークの幹事会及び総会へ参加している。	あんしんネットワーク加入 全参加施設
	・　医薬品の一括交渉を通じたグループ内施設の経営効率化	平成 29 年 10 月より開始した医薬品の一括価格交渉の継続的な実施を通じて、グループ内施設の経営効率化の実現に寄与します。また、後発医薬品に関しては、フォーミュラリーへの取り組みを進めることで、ジェネリック医薬品の安定供給や効果的な交渉の実現を図ります。	現在、12 施設が事業に参加している。 フォーミュラリーに関しては、共同研修として尾三会薬剤師会ミーティングにおいて情報共有している。	医薬品事業参加施設 ・相生山病院　・第一なるみ病院　・ジャパン藤脳クリニック　・平岩病院 ・三嶋内科病院　・葵セントラル病院　・豊田地域医療センター ・高須病院　・前原整形外科リハビリテーションクリニック　・山尾病院 ・小嶋病院　・辻村外科病院
	・　医療機器等の共通化及び一括価格交渉を通じたグループ内施設の経営効率化	グループ内施設が共通で購入する比較的高額な医療機器及び診療材料等についての調査と価格交渉を実施し検討します。また、自動車リースなど価格交渉の対象範囲の拡大を検討し、グループ内施設の経営の効率化の実現に寄与します。	患者の医療安全及び職員の負担軽減、また経営改善のため、メーカーと価格交渉後特別価格を提案している。自動車リース事業については、13 施設 80 台の登録があった。また、とろみサーバーが 2 施設へ設置された。	カーリース契約施設 ・相生山病院　・宇野病院　・三嶋内科病院　・冨田病院　・葵ｾﾝﾄﾗﾙ病院 ・総合青山病院　・辻村外科病院　・老人保健施設和合の里　・高須病院 ・前原整形外科ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝｸﾘﾆｯｸ　・国立長寿医療研究センター ・地域密着型特別養護老人ホームひらばりみなみ ・特別養護老人ホーム洲原ほーむ とろみサーバー設置施設 ・総合青山病院　・小嶋病院
	・　グループ内施設における給食サービスの共同化による適切な配食と経営効率化	藤田医科大学病院が実施している適時適温の食事提供システムを、グループ内施設で共同実施することを目指します。	「適時適温の食事提供システム」を導入した場合のコスト計算結果等を参考に、参加施設への提供実現可能性を引き続き検討している。	
	・　グループ内施設の利用者の口腔ケアニーズへの対応	施設自ら行う口腔ケアの資質向上のための希望する場合の情報提供、専門的歯科診療を提供する者についての紹介を希望する場合の情報提供、参加法人が連携している歯科診療所等における障害者、高齢者、小児等の特性に応じた診療に携わる歯科医師、歯科衛生士等の資質向上のための研修等を通じて、医業と歯科医業の連携を通じた良質かつ適切な医療・介護サービス	生活習慣病管理料（I）算定要件である歯科受診の推奨に用いる「診療情報提供書」及び「返書」の提供について尾三会ホームページへ掲載している。 医業と歯科医業の連携について、具体的な方法などを検討していく。	

		の効率的な提供を支援します。		
介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項	・　先進的な地域包括ケアモデル情報を地域医療構想区域に対し提供	既に豊明市において藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域に適したモデルの構築に貢献いたします。	「地域包括ケア中核センター」が運営を担っている、豊明市、東郷町、藤田医科大学の三者により設置された『豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」』を参考に、尾三会の医療連携推進区域において、医療介護専門職種を支援する等の拠点づくりを検討している。	
	・「暮らし」を支える在宅診療のシステム化	前述の藤田医科大学が実施している地域包括ケアモデルを参考に、各地域医療構想区域における医師会と連携し、開業医の先生方が実施する訪問診療を補完する訪問看護等の体制整備、急変時に備えた 24 時間 365 日オンコール体制によるバックアップ、24 時間看取りとターミナルケアのサポート体制の構築を通じ在宅医療の充実に貢献いたします。	尾三会の医療連携推進区域において、「地域包括ケア中核センター」と連携し、藤田医科大学病院より人材を供給するなどのシステム構築を検討している。在宅医の当直体制の充実化を図るため、令和 2 年に在宅当直医師紹介機関との契約を締結し、1 施設が利用している。	事業参加施設 ・みどり訪問クリニック
	・　介護･医療従事者等の人事交流を通じた在宅診療等の充実	各地域医療構想区域の必要度に応じたグループ内施設への人事交流を通じて、医療必要度の高い利用者に対応できる介護施設や在宅診療の充実に貢献いたします。	参加法人の介護施設や在宅診療を担う施設に対し、介護・医療従事者の人事交流する仕組み(システム)を構築中である。	
	・　グループ内施設間での患者・利用者情報の電子的な共有モデルの確立	前述のとおり、患者及び利用者情報を電子的に共有化する仕組みを構築して活用し、各医療機関及び介護施設等が連携して患者ニーズに合った適切な医療や介護の継続的な提供を実現いたします。	前述のとおり「藤田医療情報ネットワーク(ID-Link)」への登録を全参加施設に促し、システムの設置・設定を順次行っている。	
	・　医業と歯科医業の連携	地域の障害者、高齢者、小児等の特性に応じた口腔ケアの課題解決を推進します。	生活習慣病管理料（I）算定要件である歯科受診の推奨に用いる「診療情報提供書」及び「返書」の提供について尾三会ホームページへ掲載した。 医業と歯科医業の連携について、具体的な方法などを検討していく。	

令和7年度　研修会一覧

開催日	研修会、セミナー名	内容
2025年4月26日（土）	日本脳腫瘍学会学術集会	「脳」の腫瘍とはどんな病気か
2025年5月10日（土）	多職種同職種会の合同研修会	災害時における電子＠連絡帳の活用
2025年5月22日（木）	第82回藤田医科大学アレルギー勉強会	喘息診療とカビアレルギー　　ほか
2025年5月28日（水）	第31回かけはし一歩塾	改めて我が市町の老人保健施設について学びましょう
2025年5月29日（木）	医療機関向けオンラインセミナー	医療機関における問題職員対応の実務
2025年6月30日（月）	第32回かけはし一歩塾	加齢性難聴のキホンと関わり方について
2025年7月16日（水）	第33回かけはし一歩塾	家で過ごす、家で逝く、在宅看取りの実践
2025年9月17日（水）	尾張・三河　地域医療連携サミット	災害のフロントラインから見える医薬品フォーミュラリ　ほか
2025年9月18日（水）	第34回かけはし一歩塾	救急の現状や救急搬送時の連携の方法　ほか
2025年9月25日（木）	第83回藤田医科大学アレルギー勉強会	アトピー性皮膚炎診療アップデート：診断・治療と新たな展望　ほか
2025年9月26日（金）	藤田医科大学病院褥瘡勉強会	体圧分散マットレスの選択と使用方法(発生後のケア方法)
2025年11月18日（火）	地域で考える心不全診療連携セミナー	心不全治療におけるBNPを活用した地域連携　ほか
2025年11月21日（金）	藤田医科大学病院褥瘡勉強会	改定DESING-R2020の評価方法
2025年11月25日（火）	防災教育講演	DMATロジスティクスから考えるシステム障害対応
2025年12月6日（土）	第一回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	ファシリテーションについて学ぼう
2026年1月23日（金）	藤田医科大学病院褥瘡勉強会	スキンテア、医療関連機器圧迫創傷（MDRPU）
2026年1月24日(土)	第二回多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会	災害発生後の情報共有に電子＠連絡帳を活用しよう！
2026年1月29日（木）	第84回藤田医科大学アレルギー勉強会	第61回日本小児アレルギー学会（2024年11月）会長講演 「科学に根ざしたアレルギー学」
2026年2月5日（木）	不眠症診療Webセミナー	眠れないにどう向き合うか、エビデンスに基づく治療のすすめ
2026年2月27日（金）	藤田医科大学病院褥瘡勉強会	外用剤と創傷被覆材、栄養管理
2026年3月3日（火）	病院薬剤師のための災害医療セミナー	災害時の調剤からみえてくるコト　～睡眠薬の適正使用を踏まえて～
2026年3月7日（土）	藤田医科大学病院看護部がん看護研修	①AYA世代の基本知識 ②妊孕性温存と性・生殖ケア ③【特別講演】AYA世代に対するACP ④TOPICS　訪問看護でのエコー活用実践報告
2026年3月30日（月）	2026年度　診療報酬改定における特別講演会	2026年度診療報酬改定について　～DXの最新事例もふまえ～